

【作成時のチェックポイント】（新制度用の報告様式）

各ポイントの番号は、営農型発電設備に係る栽培実績書チェックポイントの番号と対応しています。

(別紙様式例第 10 号)

栽培実績書

3 農業委員会への提出日を記載

××年×月×日

岐阜県知事 様
(○○○農業委員会経由)

2 提出先は営農型太陽光発電設備の存する農地を所管する農業委員会

4 報告者は一時転用許可を受けた者
※営農者が異なる場合は連名で提出

設置者 氏名 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1
住所 岐阜 太郎

5 再許可を受けている場合は、再許可を受けた日付、許可番号を記載

営農者 氏名 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1
住所 岐阜 太郎

押印不要

××年×月×日付け岐阜県指令○農林第○○○号で農地法第4条第1項の許可を受けて支柱を立てて設置した営農型太陽光発電設備の下部の農地における農作物の生産に係る実績について、下記のとおり報告します。

農地法第5条に基づく許可の場合は「5」と記載

農地法の許可書を確認して記載

記

6 上段：①許可を受けた営農型発電設備の支柱の基礎部分等の面積（一時転用許可を受けた面積）を記載

1 許可を受けた土地等の所在及び面積等

所在及び地番	面積
岐阜県××市 ××-××	1.22 m ² (1.000 m ²)

2 営農型太陽光発電設備の下部の農地における営農者の氏名等

氏名	備考
岐阜 太郎	水稻

7 下段：「①」及び「②」許可を受けた営農型発電設備の下部の農地の面積の合計面積を記載
※下部の農地は「農地の存する農地の区画全体」を指す。
なお、農作物の剪定・収穫のための管理用通路や、雨水処理のための排水路等、下部農地での耕作の事業のために必要な施設については、下部の農地の面積から除外して差支えない。

3 営農型太陽

8 営農者が複数存在し、営農者ごとに作付作物が異なる場合は、「備考欄」に作付けを行っている作物を記載

産に係る状況

(1) 農作物の収穫が行われている場合
ア イ以外の場合

10 自家消費する場合であっても、単収、品質を記載

作付作物	作付面積 (m ²)	単収 (kg/10a)	地域の平均的な単収 (kg/10a)	品質 (等級、糖度等)	遮光率	備考
水稻	1.000	405	480	2等級	30%	

11 農作物を未収穫の場合は、必ずその理由を欄外に記載 ※別紙でも可

イ 遊休農地を再生利用した場合

9 <下部の農地で栽培する農作物を出荷した場合> 備考欄に、販売量や売上高を記載 ※出荷量を証する書面の写しを添付
<下部の農地で栽培する農作物を生育中の場合> 備考欄に、収穫開始予定時期を記載

作付作物	作付面積 (m ²)	農地の利用の程度

12 周辺の地域における農地の利用の程度と比較して記載

〔作成時のチェックポイント〕（新制度用の報告様式）

(2) 農作物の収穫が行われていない場合

ア 生育に時間を要する作物のため収穫が行われていない場合

作付作物	作付面積 (㎡)	遮光率	備考

(栽培管理及び生育の状況)

13 ・許可申請時の栽培計画に記載した農作業の内容と照らして適切に栽培管理が行われたか
 ・作物の生育状況は、栽培計画に記載した生長の指標と比較して、順調に生育しているか等について記載

イ ア以外の場合で収穫が行われていない場合

(その理由)

14 収穫まで生育が満たなかった理由（台風等による自然災害の被災や営農者の病気療養、パネル設置工事等）について、その原因も踏まえて具体的に記載

知見を有する者の例：普及指導員、試験研究機関、農業委員会等

(上記記載について知見を有する者の所見)

所見（具体的に記載してください。）

16 単収の低下等、下部の農地での営農に支障が生じている場合は、何が原因で支障が生じており、改善のためにはどのような措置が必要か等について、知見を有する者の所見を記載

15 <知見を有する者に確認を受けるポイント>
 ・下部農地における営農について、営農計画に沿って適切に行われたか。
 ・栽培した農作物について地域の平均的な単収が確保されたか。
 ・生産された農産物の品質に著しい支障が生じていないか。
 ・収穫が行われていない場合は、栽培管理及び生育の状況が適切か。
 という観点から現地確認を受けた上で、知見を有する者が所見を記載

確認年月日 ××年×月×日

知見を有する者

所属

役職・氏名

連絡先

××××××
 ×× ×× ××
 ××××××

17 確認年月日、知見を有する者の情報（所属、役職・氏名、連絡先）を記載

知見を有する者の当該作物への関わり

（※ 申請時に提出した（別紙様式例第3号）に記載された知見を有する者と異なる者が記載しようとする場合や、申請時に知見を有する者の意見書を提出していない場合（別紙様式例第2号の添付資料アにおいて(ア)又は(ウ)を選択した場合）に、知見を有する者のこれまでの試験研究実績や栽培実績等、当該作物の栽培に知見を有していることについて記入し、研究データや栽培実績データ等の資料を添付してください。）

【作成時のチェックポイント】（新制度用の報告様式）

（留意事項）

- 1 下部の農地において営農が適切に行われていることを確認するため、営農計画書に記載した農作業の内容について、作業の実態がわかる写真のほか、農作物の生育状況が確認できる写真を添付してください。
当該写真は、下部の農地全体の農作業の状況や農作物の生育状況及び収穫物の状況が明らかとされている必要がありますので、必要に応じて、複数枚の写真を添付してください。また、当該写真は、晴天時のものが適当です。
- 2 営農型太陽光発電設備の下部の農地のうち、「単収」の算出のために農作物を収穫した場所を図示した図面を添付してください（遊休農地を再生利用した場合を除く。）。
- 3 本資料は、許可を受けた土地を管轄する農業委員会を経由して提出してください。

（記載要領）

- 1 「1 許可を受けた土地等の所在及び面積等」の「面積」欄は、上段に①の面積を記載してください。また、下段の括弧には、①及び②の合計面積を記載してください。
 - ① 許可を受けた営農型太陽光発電設備の支柱の基礎部分の面積（一時転用許可の対象面積）
 - ② 営農型太陽光発電設備の下部の農地の面積
- 2 「2 営農型太陽光発電設備の下部の農地における営農者の氏名等」について、営農者が複数存在し、営農者ごとに作付作物が異なる場合には、「備考」欄に作付けを行っている作物を記載してください。
- 3 「3 営農型太陽光発電設備の下部の農地における農作物の生産に係る状況」の（1）農作物の収穫が行われている場合について
 - ・ アの「単収」欄は、営農型太陽光発電設備の下部の農地の単収を記載してください。
 - ・ アの「地域の平均的な単収」欄は、報告に係る土地の周辺地域において営農型太陽光発電設備を設置していない農地における平均的な単収を記載してください。
なお、申請に係る市町村において栽培されていない農作物を栽培している場合等地域において比較する単収がない場合は、許可申請書に添付した「営農型太陽光発電設備の下部の農地における営農計画書」（別紙様式例第1号）2（5）ア(ア)又は(イ)に記載した「地域の平均的な単収」又は「単収見込み」を記載してください。
 - ・ イの「農地の利用の程度」欄は、当該農地での農作物の生産の状況について、周辺地域における農地の利用の程度と比較した利用の程度を含めて記載してください。
 - ・ ア及びイの「品質」欄は、等級、糖度等を記載してください。このような品質に係る指標がない農作物の場合には、出荷用に耐えられるか否か、地域の営農型太陽光発電を行っていない農地において生産している同一の作物の品質と比較し、著しい違いがあるか否かを記載してください。
 - ・ ア及びイの「遮光率」欄について、営農型太陽光発電設備の設計上の遮光率を記載してください。設計上の遮光率が不明の場合には、当該設備の直下の農地面積のうち太陽

【作成時のチェックポイント】（新制度用の報告様式）

光パネルの水平投影面積が占める面積を記載ください。

- 4 「3 営農型太陽光発電設備の下部の農地における農作物の生産に係る状況」の（2）農作物の収穫が行われていない場合について
 - ・ 「ア 生育に時間を要する作物のため収穫が行われていない場合」の「栽培管理及び生育の状況」欄は、許可申請時の栽培計画に記載した農作業の内容と照らして適切に栽培管理が行われたか、また、作物の生育の状況は、栽培計画に記載した生長の指標と比較して、順調に生育しているか等について記載してください。
 - ・ 「イ ア以外の場合で収穫が行われていない場合」の「その理由」欄は、収穫まで生育が満たなかった理由（台風等による自然災害の被災や営農者の病気療養等）について、その原因も踏まえて具体的に記入してください。
- 5 営農型太陽光発電設備の下部の農地において収穫した農作物を出荷した場合には、「備考」欄に販売量や売上高を記載するとともに、出荷量を証する書面の写しを添付してください。
- 6 自家消費する場合であっても「単収」欄や「品質」欄の記載は必要となりますので、御注意ください。

栽培実績書添付写真

許可を受けた土地等の所在：**事業地の住所を記載**

【下部の農地における農作物の生育状況】

写真

<添付する写真の注意点>

- ・晴天時に撮影したものが適切であること。
- ・収穫直前の、下部の農地における農作物の生育状況が確認できること。
※必要に応じて、複数枚添付すること。
- ※発電設備の直下部分及び周囲部分それぞれの写真を添付すること。
- ・適宜、欄を追加すること。
- ・写真のサイズは、印刷時に明瞭に確認できる大きさとする。

<農作物が生育期間中の場合のみ>

- ・メジャー等を農作物に当てて、写真から容易に伸長量を判別できること。
※必要に応じて、農作物の全体像やメジャーの拡大部の写真を添付すること。

撮影年月日：

作付作物名：

設備直下・周囲の別
発電設備直下・周囲の別を記載

<農作物が生育期間中の場合のみ>
伸長量を記載(例:●●cm)

【許可申請書に添付の営農計画書に記載した農作業の内容】

写真

<添付する写真の注意点>

- ・農作業の状況が確認できること。
※必要に応じて、複数枚添付すること。
- ・営農計画書に記載した農作業の内容ごとに写真を添付すること。

撮影年月日：

作業内容：
※農作業内容を記載
(例:剪定作業)

【報告前年度に知見を有する者の所見等を受けて、農作物の栽培に係る改善措置を講じた場合】

写真

<添付する写真の注意点>

- ・作業の状況が確認できること。
※必要に応じて、複数枚添付すること。
- ・講じた措置ごとに写真を添付すること。

撮影年月日：

作業内容：
※講じた改善策の作業内容を記載
(例:消毒作業)

〔作成時のチェックポイント〕（新制度用の報告様式）

（別紙様式例第 11 号）

収 支 報 告 書

農業委員会への
提出日を記載

××年×月×日

岐阜県知事 様
(〇〇〇農業委員会経由)

提出先は営農型太陽光発電設備の存する
農地を所管する農業委員会

報告者は一時転用許可を受けた者
※営農者が異なる場合は連名で提出

設置者 氏名 **岐阜県岐阜市藪田南2-1-1**
住所 **岐阜 太郎**

再許可を受けている場合は、再許可を受けた日付、
許可番号を記載

営農者 氏名 **岐阜県岐阜市藪田南2-1-1**
住所 **岐阜 太郎**

××年×月×日付け**岐阜県指令〇農林第〇〇〇号**で農地法第4条第1項の許可を受けて支
柱を立てて設置した営農型太陽光発電設備の下部の農地の営農における収支状況について、
下記のとおり報告します

農地法の許可書を確認して記載

農地法第5条に基づく許可の場合は「5」と記載

記

- ・直近の会計年度の実績を記載
※新規に発電設備を設置する場合であって、収支報告書の提出期日が会計年度途中であることを理由として収入金額等を記載できない場合は、その旨を収支報告書に記載
- ・当該報告書に係る下部の農地（発電設備の存する区画全体）に係る収支を記載
（許可申請時に設備下部の農地についての収支の見込みを提出したものについて、これに対する収支報告書を提出すること。）
※営農者が当該報告書の下部の農地以外でも営農を行っており、個別の農地の支出額（種苗費・肥料費・農機具費等）が不明である場合は、経営農地面積割合等から案分して算定しても差し支えない。

				今年度 (令和×年度)	
				科目	金額 (円)
人 金 額	(発電収入)			販売金額	××
	(営農協力金)			自家消費	
	小 計			雑収入	
支 出 金 額	種苗費			(発電収入)	××
	肥料費			(営農協力金)	
	農機具費			小 計	××
	農薬・衛生費			種苗費	××
	動力光熱費			肥料費	××
	修繕費			農機具費	××
	人件費			農薬・衛生費	
	地代・賃借料			動力光熱費	
	農業共済掛金			修繕費	
	減価償却費			人件費	
	土地改良費			地代・賃借料	
	雑費			農業共済掛金	
租税公課			減価償却費		
			土地改良費		
			雑費		
			租税公課		
			小 計	××	
差引金額			差引金額	××	

【作成時のチェックポイント】（新制度用の報告様式）

（留意事項）

- 1 「科目」は収支科目の主要なものを記入していますので、適宜、追記削除をお願いします。
- 2 「発電収入」の欄は、営農型太陽光発電設備の設置者と下部農地の営農者が同一である場合において、売電による収入がある場合に記入してください。
- 3 「営農協力金」の欄は、営農型太陽光発電設備の設置者と下部農地の営農者が異なる場合において、設置者から営農協力金等を受領している場合に記入してください。
- 4 資料は、許可を受けた土地を管轄する農業委員会を經由して提出してください。